

VHSビデオカメラ

GR-ES1



準備

基本

応用

その他

ご購入いただき、ありがとうございます。

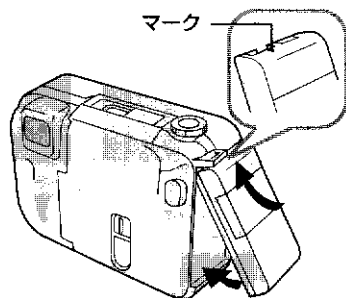
ご使用前にこの「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。

1 電源の準備 (6)

充電したバッテリーをマークを上にしてカチッと音がするまで差し込む



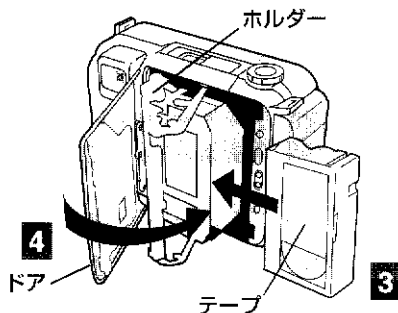
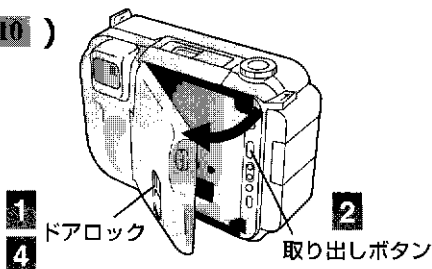
2 テープを入れる (10)

1 ドアロックを '開' にして
ドアを開ける

2 取り出しボタンを押して
ホルダーをひらく

3 テープを入れる

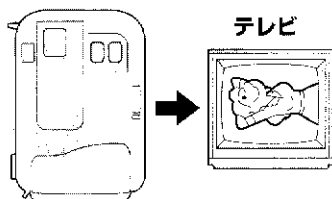
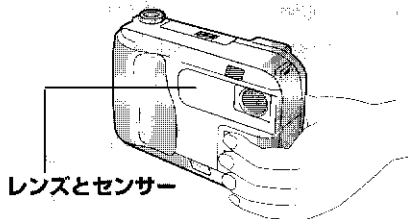
4 ドアを閉めて ドアロックを
'閉' にする



ご注意ください

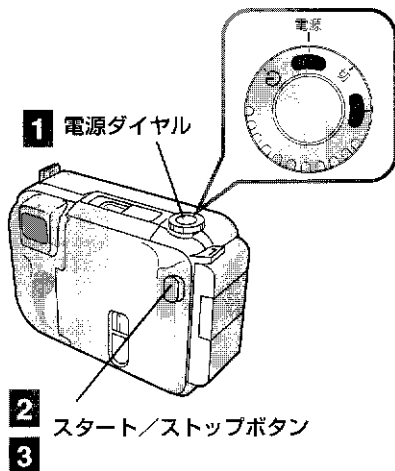
●撮影に必要なレンズやセンサーを、指などでふさがないようにください。指が録画されたり、ピントが合わなくなります。

●ビデオカメラを図のように立てて撮影すると、再生される映像は横になります。



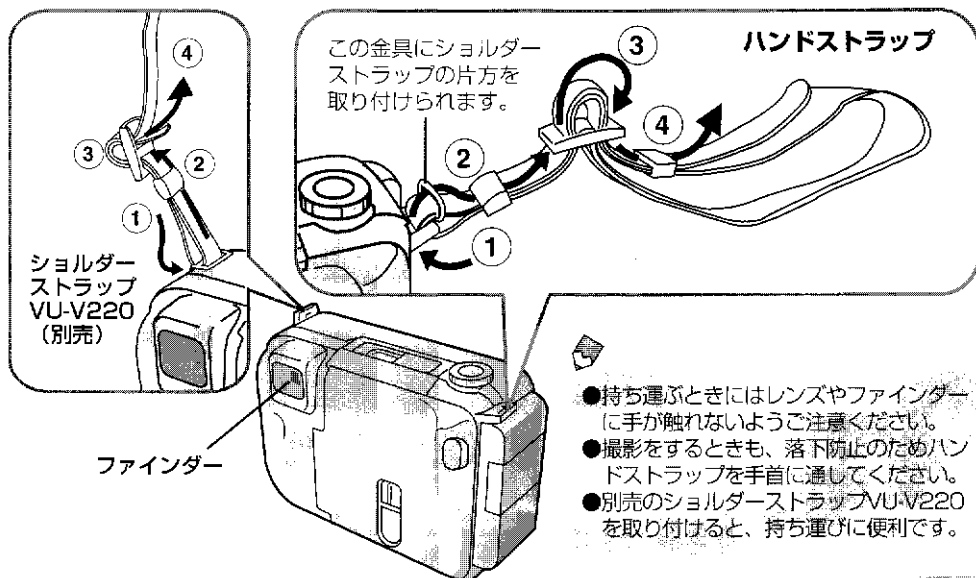
3 撮る (■)

- 1 電源ダイヤルを‘撮影’にする
- 2 スタート/ストップボタンを押して撮影を始める
- 3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す



運ぶときには (ストラップの取り付け方)

落下防止のため、付属のハンドストラップを必ず取り付けて手首に通して運んでください。ストラップが正しくついているか、十分にご確認ください。



ご使用前に

大切な録画の前に

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ビデオカメラおよびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機はVHS方式のビデオカメラです。VHSII (S-VHSII) マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。

リサイクルについて



Ni-Cd

この製品に使用する電源にはニカド電池があります。ニカド電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。

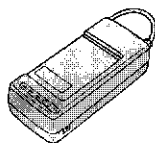
- 電池の電極間ショート(短絡)防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいでください。

著作権について

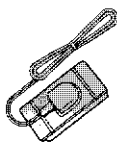
あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、鑑賞や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

付属品について

本機の付属品をお確かめください。



ACパワーアダプター
AA-V11



DCコード



バッテリー
BN-V12



リチウム電池
CR2025
(本体に取り付け
られています。)



ハンドストラップ



映像／音声コード
約1.5m

もくじ

準備



電源を準備する..... 6

- バッテリーを充電する 5
- バッテリーを取り付ける 6
- バッテリーをリフレッシュする 7
- AC/パワーアダプターの点検 8
- 室内で電源を使うとき 9
- 車内で電源を使うとき 9

テープを入れる..... 10

撮影する..... 12

- 大きく撮りたいとき 14
- すぐに撮り直したいときは（撮り直し） 15
- テープの無記録部分をさがす（ブランクサーチ） 15
- 5秒撮りモード 16
- セルフタイマー 17
- 5秒間のセルフタイマー 17

テレビにつないで撮影する..... 18

- 撮影の確認をする 19
- 撮影済みテープの撮り始めを探す 20

再生する..... 20

- VHS-Cテープをビデオデッキで見る 21

ビデオデッキにつなぐ..... 22

- ビデオカメラを通した映像をビデオデッキで記録する 22
- ビデオデッキにつないで記録する（ダビング） 23

別売リモコンRM-V20を使って..... 24

リチウム電池（時計用）を交換する..... 25

日時を合わせる..... 26

こんなときは..... 28

海外でお使いになるには..... 30

必ずお読みください..... 31

各部のなまえ..... 36

表示窓とファインダー..... 38

主な仕様..... 39

ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE..... 40

索引..... 42

保証とアフターサービス..... 43

基本



応用



その他



準備

基本

応用

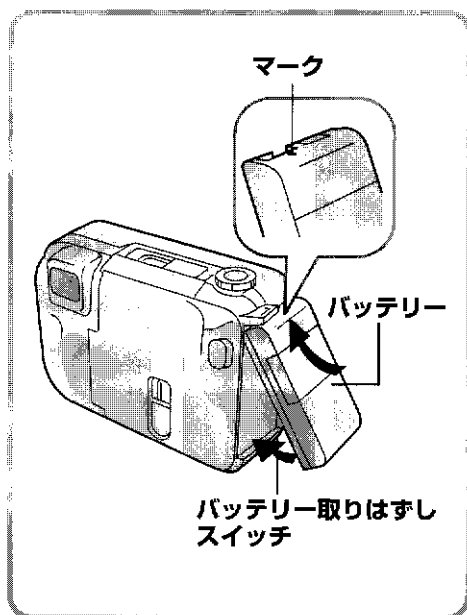
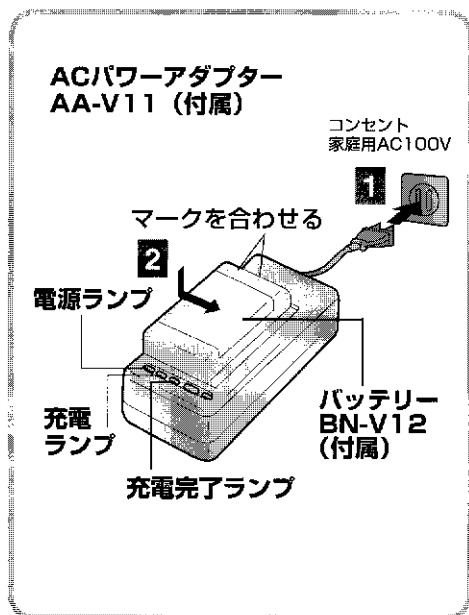
その他

説明書に出てくるマークは

- は知っているると便利な操作や説明です。
- は正しくお使いいただくためのご注意です。
- はその数のページをあわせてご参照ください。

電源を準備する

ビデオカメラはバッテリーで動きます。ACパワーアダプターAA-V11（付属）で、まずバッテリーを充電しましょう。



バッテリーを充電する

- 1 ACパワーアダプターのプラグをコンセントに差し込む

- 電源ランプが点灯します。

- 2 マークを合わせ、バッテリーを矢印方向に差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電を始めます。
- 充電ランプが消え、充電完了ランプが点灯したら充電完了です。
- 取りはずす時は、取り付けたときと逆の方向へバッテリーをスライドさせます。
- 電源プラグを抜いてください。

バッテリーを取り付ける

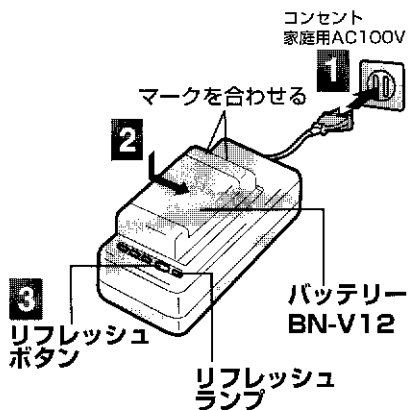
- 1 充電したバッテリーを、マークを上にしてカチッと音がするまで差し込む

- 取りはずす時は、バッテリー取りはずしスイッチをスライドさせます。



- ACパワーアダプターAA-V11は、AC（交流）100～240V、50/60Hz仕様です。海外でもお使いになれます。（■）
- バッテリー以外に室内や車内で使える電源もあります。（■）
- 充電中や、リフレッシュ中に、DCコードをACパワーアダプターに接続すると、電源がビデオカメラに供給され、充電やリフレッシュは中断されます。（ACパワーアダプターの電源ランプは点灯しています。）

ACパワーアダプター AA-V11



バッテリーをリフレッシュする

バッテリーの性能を長持ちさせるために、リフレッシュ機能で5回の充電につき1回を目安にリフレッシュ（放電）することをおすすめします。

1 ACパワーアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

2 バッテリーを取り付ける

3 リフレッシュボタンを押す

- リフレッシュランプが点灯してリフレッシュが始まります。
- リフレッシュランプが消えるとリフレッシュ（放電）完了です。充電ランプが点灯し、充電が始まります。



バッテリーについて

- バッテリーは使い切らないまま充電すると容量が低下します。使いかけのバッテリーは使いきるか、リフレッシュ（放電）してから充電してください。
- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。使用する直前か前日に、充電してください。

リフレッシュ（放電）について

- ACパワーアダプターの電源プラグを、コンセントに差さずにリフレッシュボタンを押すと、充電せずにリフレッシュすることが出来ます。
- リフレッシュ済み（容量が残っていない状態）のバッテリーは、ACパワーアダプターに取り付けてもリフレッシュされません。

バッテリー 充電／リフレッシュ時間の目安表

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V11使用の場合

- リフレッシュ時間は容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

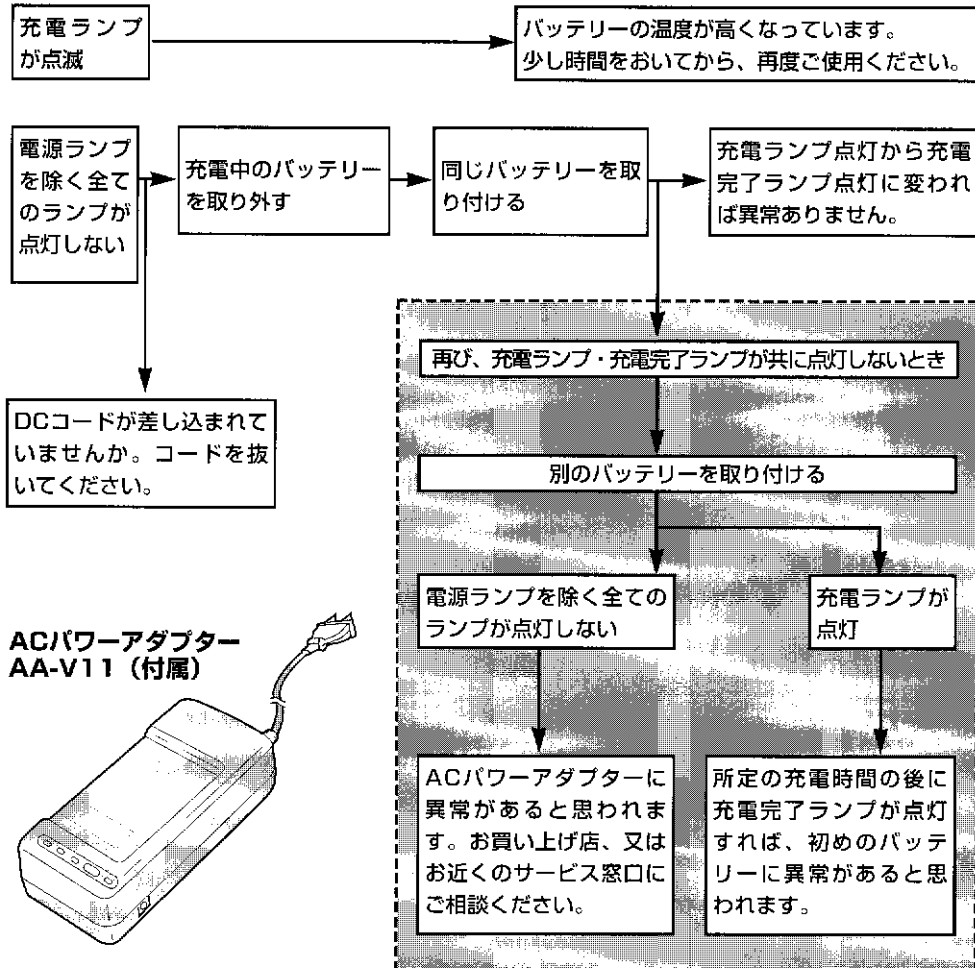
バッテリー 連続撮影時間の目安表

バッテリー	撮影時間
BN-V12	約 70分
BN-V15	約 95分
BN-V22	約140分
BN-V25	約200分
BN-V50	約170分
BN-V65	約140分

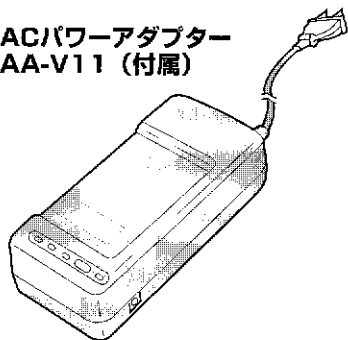
電源を準備する (つづき)

ACアダプターの点検

ACアダプター AA-V11 (付属) のランプが点滅したり、点灯しなくなったときは異常が考えられます。次の手順でご確認ください。

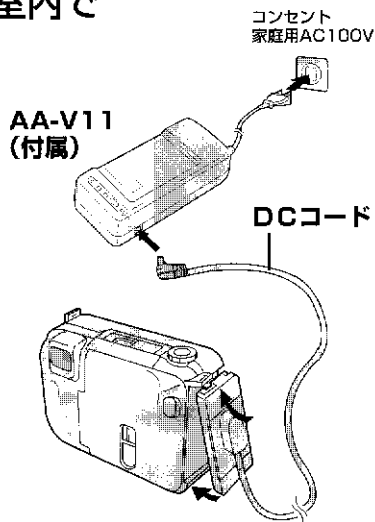


ACアダプター AA-V11 (付属)

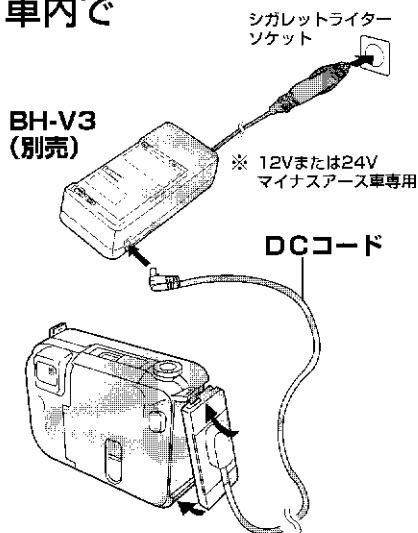


- 購入直後のバッテリーや、長期放置したものは、最初の充電のときに充電ランプが点灯しないことがあります。バッテリーを取り外し、もう一度充電してください。充電後、充電完了ランプが点灯したら、そのバッテリーは正常です。

室内で



車内で



準備

室内で電源を使うとき

ACパワーアダプター AA-V11 (付属) を使って、ご家庭のコンセントから直接電源を利用できます。

- バッテリーの充電もできます。
- AC (交流) 100~240V、50/60Hz 仕様です。
海外でもお使いになれます。(電)
- 取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。

車内で電源を使うとき

カーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売) を使って、シガレットライターソケットから直接電源を利用できます。

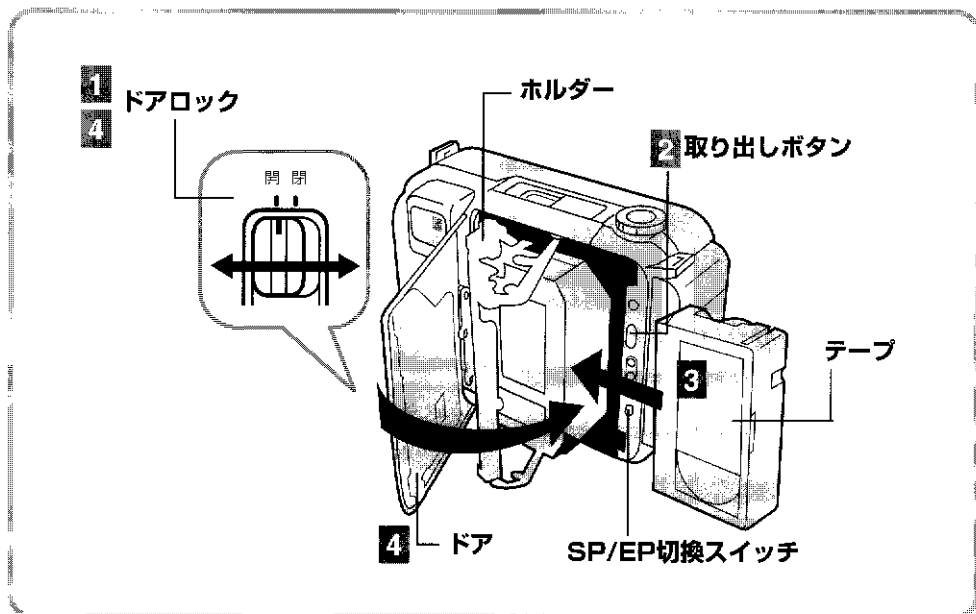
- シガレットソケットにつないで、バッテリーの充電もできます。(BN-V50の充電はできません。)
- 日本車、米国車、欧州車 対応です。
- 取り付け/取りはずしは、バッテリーと同じです。
- 電源供給のみの、カーバッテリーコード AP-V7 (※別売12Vマイナスアース車専用) もあります。



くわしくは、カーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売)、カーバッテリーコード AP-V7 (別売) の取扱説明書をご覧ください。

テープを入れる

撮影をするためにテープを入れます。VHS[®]（S-VHS[®]）マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。



1 ドアロックを‘開’にして、
ドアを開ける

2 取り出しボタンを押して、
ホルダーをひらく

3 テープを入れる
●SP/EP切換スイッチでテープの録画
モードを選びます。

4 ドアを閉めてドアロックを
‘閉’にする



テープの録画モードについて

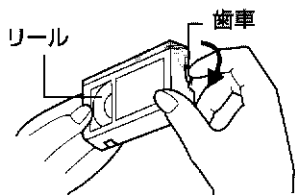
- SP（高画質モード）
標準の録画モードです。画質を重視する
ときや、編集（ダビング）するときにおすす
めします。
- EP（長時間モード）
テープを経済的に使いたいときに、おすす
めします。（撮影時間がSP時の3倍にな
ります。）標準専用のVHSビデオでは再生
できませんのでご注意ください。

録画モードの選択は撮影前に

撮影途中でSP/EPを切り換えると、再生し
たときにその部分で画像が乱れます。撮影前
に選択してください。

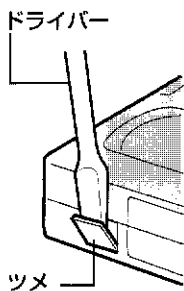


テープのたるみは、テープを傷める原因になります。使用前に、リールが一緒に動くまで歯車を矢印方向に回してたるみをなくしてください。

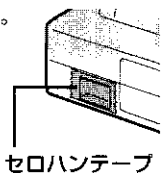


テープの出し入れだけを繰り返すと、たるみの原因になります。

誤って大切な記録を消さないために



‘ツメ’を折ります。再び撮影するときは、ツメの部分にゼロハンテープを二重に貼ります。



ゼロハンテープ



消去防止用のツメ
(フタ)

‘ツメ’の部分がスライド式の場合はOFF側にスライドさせます。撮影するときはON側にしてください。

テープの種類と撮影時間の目安表

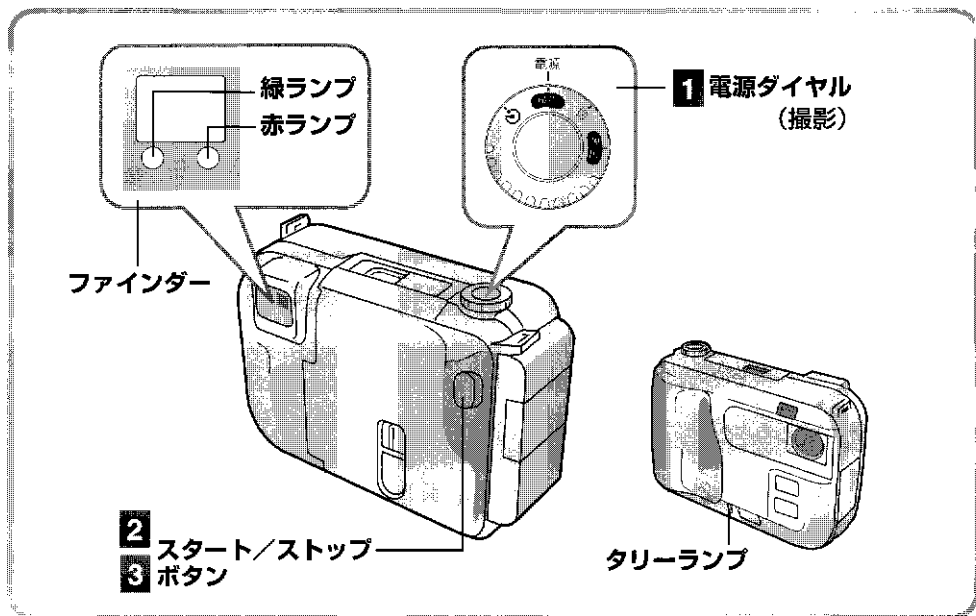
テープの種類	SP (高画質) モード	EP (長時間) モード
TC-20	20分	60分
TC-30	30分	90分
TC-40	40分	120分



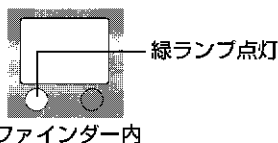
コンパクトビデオテープについて

本機は、VHS方式のビデオカメラです。**VHS** マークのついたテープをご使用ください。S-VHSのテープ（**S-VHS** マーク付き）もご使用になれますが、記録される映像はVHSになります。

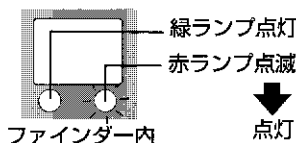
撮影する



- 1** 電源ダイヤルを「撮影」にする
●ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止状態になります。



- 2** スタート/ストップボタンを押して撮影を始める
●タリーランプと、ファインダー内の赤ランプが点滅し、点灯に変わります。



- 日付が変わったとき、またテープを入れて初めて録画スタートするときに約4秒間、自動的に日付を記録します。

- 3** 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す
●撮影一時停止になります。
●次の撮影まで時間があくときは、電源ダイヤルを「切」にしておきましょう。

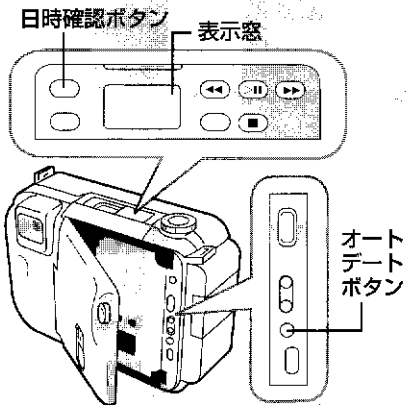


ピントの合う範囲

ズームアップ (望遠側) で約1.3m以上、ズームバック (広角側) で約40cm以上、被写体から離れて撮影してください。

次の撮影まで時間があくときは

- 電源をこまめに切りましょう。バッテリーの消耗を防ぎます。
- 撮影一時停止を約5分以上続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止の状態に戻ります。



日時を確認するには

撮影の前にビデオカメラに設定されている日時を確認することをおすすめします。日時確認ボタンを押すと、設定した日付、時刻を表示窓で約5秒間ずつ確認できます。間違っているときは、合わせ直してください。()

日付を記録したくないときは

表示窓に 'DATE' の表示が出ていると、日付を記録することができます。記録したくないときは、オートデートボタンを押して、表示窓から 'DATE' 表示 (オートデート表示) を消してください。日付を記録したいときは、もう一度オートデートボタンを押してください。'DATE' 表示がでて、記録されるようになります。

ご注意ください

ビデオカメラをテレビにつないでいないときには、巻戻しボタンや早送りボタンを押さないでください。テープの位置がずれることがあります。

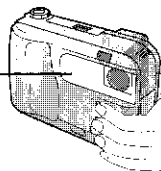
テープの途中から撮影するときは

テープの位置がずれて、再び撮影するときには前の記録が消えることがあります。ブランクサーチ () で、撮り始めたいところを頭出ししてから、撮影を始めてください。

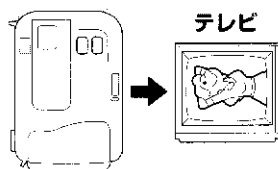
ご注意ください

●撮影に必要なレンズやセンサーを、指などでふさがないようにしてください。

レンズとセンサー



●ビデオカメラを図のように立てて撮影すると、再生される映像は横になります。

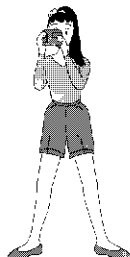


より安定した撮影のためには姿勢が大切です



低い位置の撮影

壁や柱によりかかり安定させる

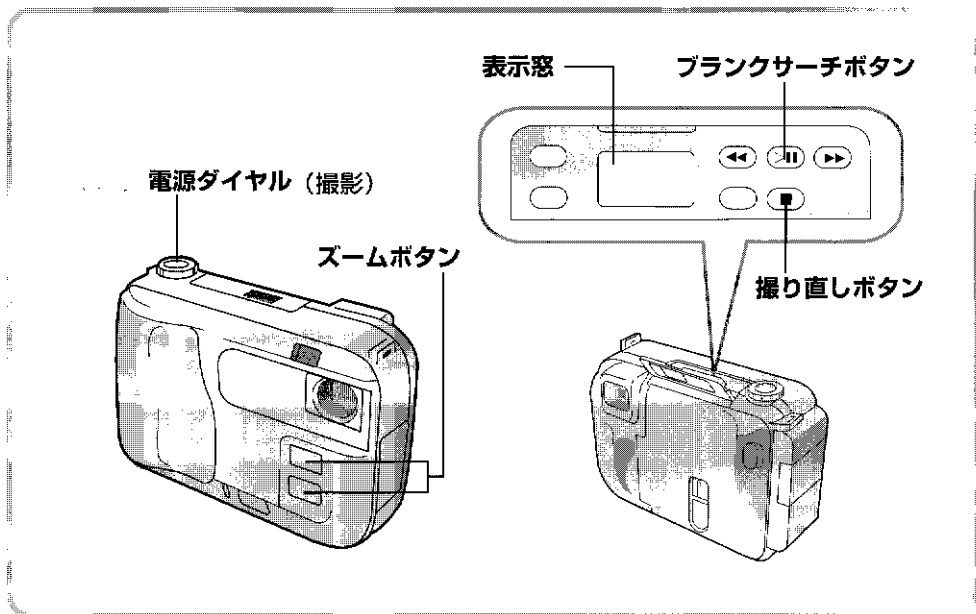


左手もビデオカメラにそえる

わきをしめる

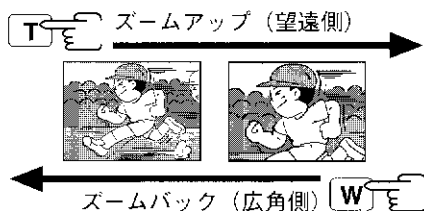
足は少し開きしっかり構える

撮影する (つづき)



大きく撮りたいとき

- 1** 撮影中、ズームボタンを押す
- 被写体のズームアップ/ズームバックができ、映像に変化を付けることができます。



ピントの合う範囲

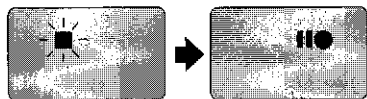
ズームアップ (望遠側) で約1.3m以上、ズームバック (広角側) で約40cm以上、被写体から離れて撮影してください。

すぐに撮り直したいときは（撮り直し）

撮影中失敗したなと思ったとき、1つ前の撮り始めまで戻ることができます。

1 記録をやめた後の、撮影一時停止の状態ですぐに撮り直しボタンを押す

- 表示窓に ■ が点滅し、1つ前の撮り始めまでテープを巻き戻して撮影一時停止になります。



(撮影一時停止)

表示窓内



- 記録をやめたあと電源を切ったり、早送りボタンや巻戻しボタンを押して編集点を変えると、この機能は動きません。
- 再生したときに、撮り直したあとの編集点で、映像が乱れることがあります。故障ではありません。

テープの無記録部分をさがす（ブランクサーチ）

途中まで記録してあるテープを使って撮影をしたいとき、ボタンひとつで無記録部分をさがすことができます。

1 ビデオカメラにテープを入れ、電源ダイヤルを 撮影 にする

- ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止になります。

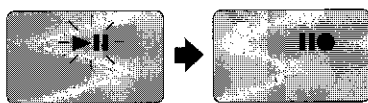


(撮影一時停止)

表示窓内

2 ブランクサーチボタンを押す

- 表示窓に ▶|| が点滅し、テープの無記録部分の前で、撮影一時停止になります。



(撮影一時停止)

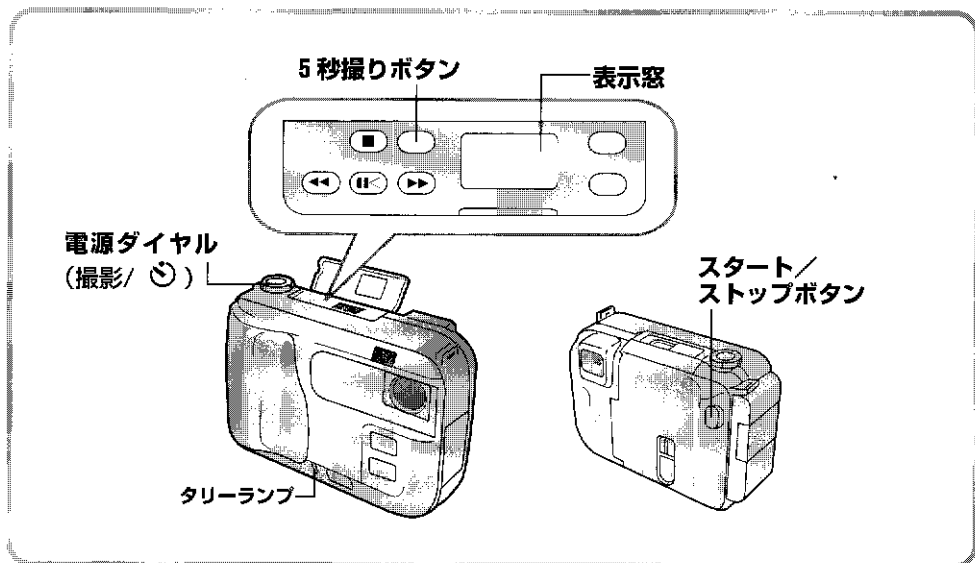
表示窓内

- 無記録部分がない場合は、テープの終わりで止まります。
- 途中で解除したいときはもう一度ブランクサーチボタンを押します。



再生したときに、ブランクサーチしたあとの編集点で、映像が乱れることがあります。故障ではありません。

撮影する (つづき)



5秒撮りモード

旅先などでの記念撮影、風景や名所の記録などを、5秒間ずつの映像と音声で残せます。スナップ感覚の新しい撮り方を楽しめます。

1 電源ダイヤルを **撮影** にする

2 '5秒撮りボタン' を押す
●表示窓に '5S' の表示がでます。



表示窓内

3 スタート/ストップボタンを押す

- タリーランプが点灯して5秒間の撮影をし、撮影一時停止になります。5秒以内にスタート/ストップボタンを押しても撮影は停止しません。必ず5秒間は撮影します。

4 通常の撮影に戻りたいときは、もう一度 '5秒撮りボタン' を押す

- 表示窓から '5S' の表示が消えます。



5秒以上撮影を続けたいときは撮影中、または最初から、5秒以上スタート/ストップボタンを押し続けます。スタート/ストップボタンを押している間は撮影を続けることができます。

セルフタイマー

1 電源ダイヤルを「☺」にする

- ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止になります。

2 スタート/ストップボタンを押す

- タリーランプとファインダー内の赤ランプが点滅し、約15秒後に点灯にかわって撮影を開始します。

3 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す

- 撮影一時停止になります。

4 通常の撮影に戻りたいときは、電源ダイヤルを「撮影」にする



セルフタイマーを途中で解除したいときはタリーランプが点滅してからセルフタイマーを解除したい場合は、スタート/ストップボタンを押して撮影を一時停止し、電源ダイヤルを「撮影」に合わせてください。

5秒間のセルフタイマー

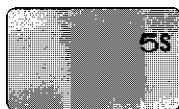
5秒撮りモードとセルフタイマーを組み合わせると、5秒間のセルフタイマー撮影ができます。

1 電源ダイヤルを「☺」にする

- ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止になります。

2 「5秒撮りボタン」を押す

- 表示窓に「5S」の表示がでます。



表示窓内

3 スタート/ストップボタンを押す

- タリーランプとファインダー内の赤ランプが点滅し、約15秒後に点灯にかわって撮影を開始します。
- 5秒間の撮影をし、撮影一時停止になります。

4 通常の撮影に戻りたいときは、もう一度「5秒撮りボタン」を押して、電源ダイヤルを「撮影」にする

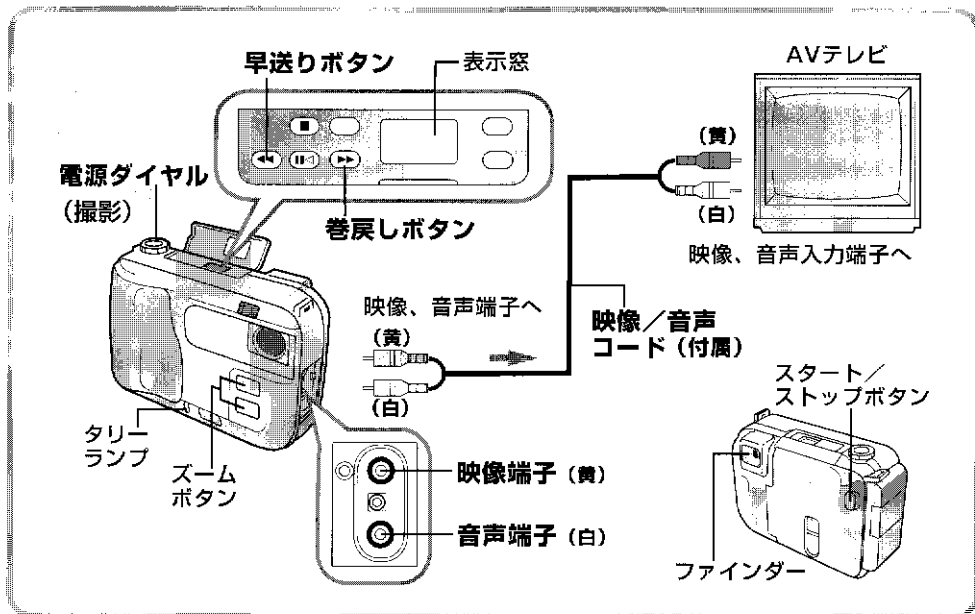
- 表示窓から「5S」の表示が消えます。



5秒撮りモードを使っている撮影中に、スタート/ストップボタンを押しても撮影は停止しません。必ず5秒間は撮影します。

テレビにつないで撮影する

テレビに映像／音声入力端子がある場合（AVテレビ）、ビデオカメラをつないで記録している映像を見ながら撮影することができます。ご家庭のテレビの取扱説明書もご覧ください。



1 映像／音声コード（付属）でビデオカメラとテレビをつなぎ、テレビの電源を入れる

2 テレビの入力を、ビデオカメラをつないだ端子に切りかえる（例 ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど）

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを「撮影」にする

- ファインダー内の緑ランプが点灯し、撮影一時停止状態になります。
- テレビに、ビデオカメラからの映像と音声が出ます。

4 スタート／ストップボタンを押して撮影を始める

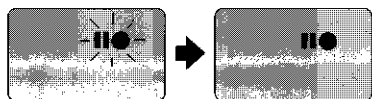
- タリーランプと、ファインダー内の赤ランプが点滅し、点灯に変わります。
- 日付が変わったとき、またテープを入れかえて最初に録画スタートするときに約4秒間、自動的に日付を記録します。
- ズームボタンで、被写体のズームアップ／ズームバックができ、映像に変化を付けることができます。

5 撮影を一時やめたいときは、もう一度スタート／ストップボタンを押す

- 撮影一時停止になります。
- 次の撮影まで時間があくときは、電源ダイヤルを「切」にしておきましょう。

撮影の確認をする

ビデオカメラをテレビにつないで、撮影の確認をすることができます。



(撮影一時停止)

表示窓内

1 撮影一時停止の状態ですべてのボタンを押す

- 最後のシーンを約2秒間再生し、撮影一時停止の状態に戻ります。
- ビデオカメラの表示窓に●●が点滅します。

撮影済みテープの撮り始めを探す

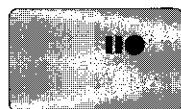
撮影中失敗したなと思ったら、撮影済みテープの途中から録画するとき、ビデオカメラをテレビにつないで、ボタン1つで撮り始めたいところを探せます。

1 撮影一時停止の状態ですべてのボタンを押す

- テレビに、ビデオカメラからの映像が出ます。
- 映像が乱れることがありますが故障ではありません。
- 音声はできません。

2 撮り直したいところでボタンから指を離す

- 撮影一時停止に戻ります。



(撮影一時停止)

表示窓内



テレビに映像/音声入力端子がない

RFユニットRF-V5(別売)をお使いください。くわしくはRFユニットの取扱説明書をご覧ください。

ピントの合う範囲

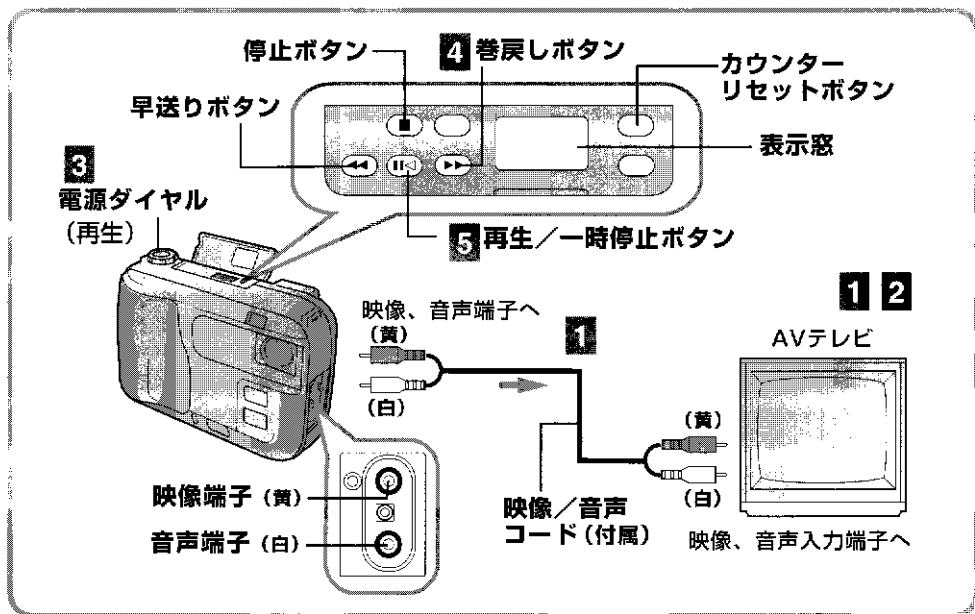
ズームアップ(望遠側)で約1.3m以上、ズームバック(広角側)で約40cm以上、被写体から離れて撮影してください。

次の撮影まで時間があくときは

- 電源をこまめに切りましょう。バッテリーの消耗を防ぎます。
- 撮影一時停止を約5分以上続けると、節電のため自動的に電源が切れます。撮影を続けたいときは、もう一度スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止の状態に戻ります。

再生する

テレビにつないで、再生する映像を見ることができます。ご家庭のテレビの取扱説明書もご覧ください。



1 映像/音声コード (付属) でビデオカメラとテレビをつなぎ、テレビの電源を入れる

2 テレビの入力を、ビデオカメラをつないだ端子に切りかえる (例 ビデオ1、ビデオ2、ムービーなど)

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを '再生' にする

4 '巻戻しボタン' を押してテープを巻戻す

5 '再生ボタン' を押す
●再生をやめたいときは '停止ボタン' を押します。



テレビに映像/音声入力端子がない RFユニットRF-V5(別売)をお使いください。くわしくはRFユニットの取扱説明書をご覧ください。

テープの早送り/巻戻し

停止ボタンを押してから、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押します。

テープの初めや終わりまで早送りや巻戻しをすると自動的に停止します。

早送り/巻戻ししながら見る

●再生中に、早送りボタンまたは巻戻しボタンをポンと一度押すと、高速再生します。見たいシーンで再生ボタンを押してください。通常再生になります。

●指を離さずに、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けると、高速で再生します。見たい場面で指を離せば、通常再生になります。



テープの走行量を時間で確認する



撮影、または再生途中で0:00:00に戻すには、カウンターリセットボタンを押してください。

- カウンター値は、無記録部分では変わりません。
- テープを取り出すと、0:00:00に戻ります。
- 0:00:00を越えて巻戻すと、-が表示されます。

再生画を一時止めるには（静止画再生）

- 再生中に一時停止ボタンを押します。再生に戻りたいときは再生ボタンを押します。
- 一時停止を約5分以上続けると、テープ保護のため自動的に電源が切れます。

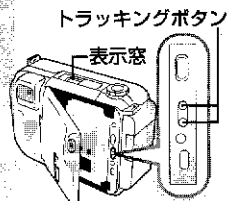
高速再生/静止画再生中は

- 画面にノイズがでますが故障ではありません。特にSP（高画質）モードの場合はノイズが多くなります。
- 音声はでません。

テレビの画面にノイズが出てきたら

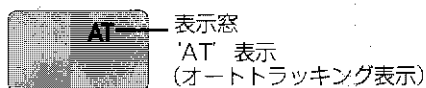


テレビの画面



このビデオカメラはオートトラッキング機能付きです。トラッキングは自動的に合い、ノイズは取り除かれますが、合いにくい場合は以下のように手で調節してください。

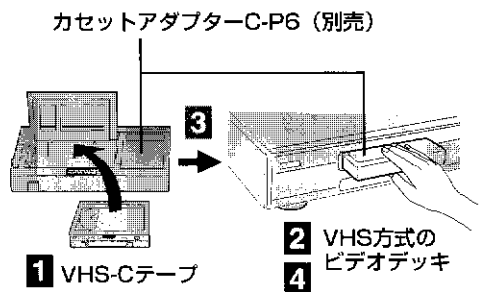
- 1.再生中、トラッキングボタンの「+」と「-」を同時に押して、オートトラッキングを解除します。
 - ・表示窓の「AT」表示（オートトラッキング表示）が消えます。



- 2.トラッキングボタン「+」または「-」を押して、テレビの画面がよくなるよう調節します。
 - オートトラッキングの状態に戻すときは、トラッキングボタンの「+」と「-」を同時に押してください。
 - ・表示窓に「AT」表示（オートトラッキング表示）が出ていることを確認してください。
 - 他のビデオカメラで録画されたテープは、十分に調節できないことがあります。

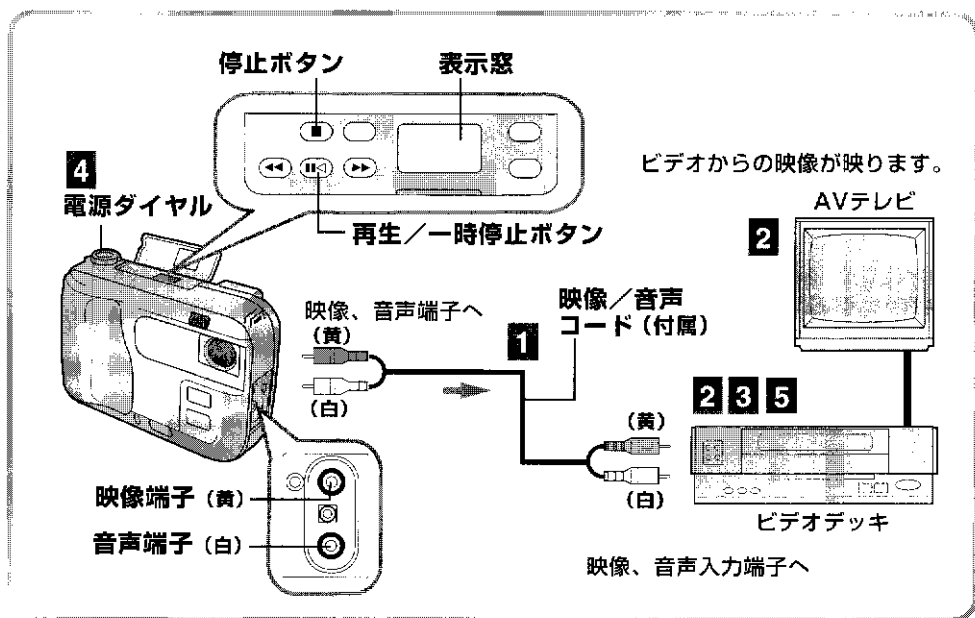
VHS-Cテープをビデオデッキで見る

カセットアダプター C-P6（別売）を使えば、VHS-Cテープをそのままビデオデッキで見ることができます。カセットアダプターや、ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。



- 1 VHS-Cテープを、カセットアダプター C-P6（別売）に入れる
- 2 ビデオデッキ、テレビの電源を入れ、テレビをいつもビデオを見ているチャンネルにする
- 3 カセットアダプターをビデオデッキに入れる
- 4 ビデオデッキの再生操作をする

ビデオデッキにつなぐ



ビデオカメラを通した映像をビデオデッキで記録する

ビデオカメラを通した映像をテレビに映し、ビデオデッキで記録することができます。ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

- 1 映像/音声コード (付属) でビデオカメラとビデオデッキをつなぐ
- 2 ビデオデッキ、テレビの電源を入れ、テレビはいつもビデオを見ているチャンネルにする
- 3 ビデオデッキの入力を、外部入力モードにする (23)
- 4 ビデオカメラに、テープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」にする
 - テレビに、ビデオカメラからの映像と音声が出ます。
- 5 ビデオデッキに記録するテープを入れ、録画操作をする



ビデオカメラの電源は、AC/パワーアダプター (付属) を使うことをおすすめします。

ビデオデッキにつないで記録する（ダビング）

ビデオカメラで再生する映像を、ビデオデッキで記録（ダビング）することができます。
ご家庭のテレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

1 映像／音声コード（付属）で
ビデオカメラとビデオデッキ
をつなぐ

2 ビデオデッキ、テレビの電源を
入れ、テレビはいつもビデオを
見ているチャンネルにする

3 ビデオデッキの入力を外部入力
モードにする（右下参照）

4 ビデオカメラの電源ダイヤル
を‘再生’にし、‘再生ボタン’
を押す

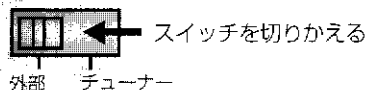
●再生をやめたいときは、‘停止ボタン’
を押します。

5 ビデオデッキに記録するテープを
入れ、録画操作をする

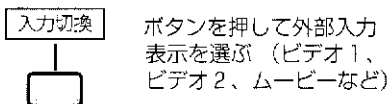


ビデオデッキを外部入力にするには
ビデオデッキによって異なりますので、お使いに
なるビデオデッキの取扱説明書と下の例を見な
がら、おこなってください。（ビデオカメラか
らの映像と、音声が出るようにしてください。）

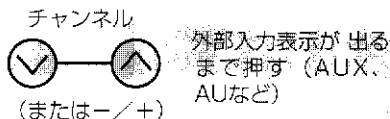
例1 スライドスイッチで切り換えるタイプ



例2 入力切換ボタンのタイプ

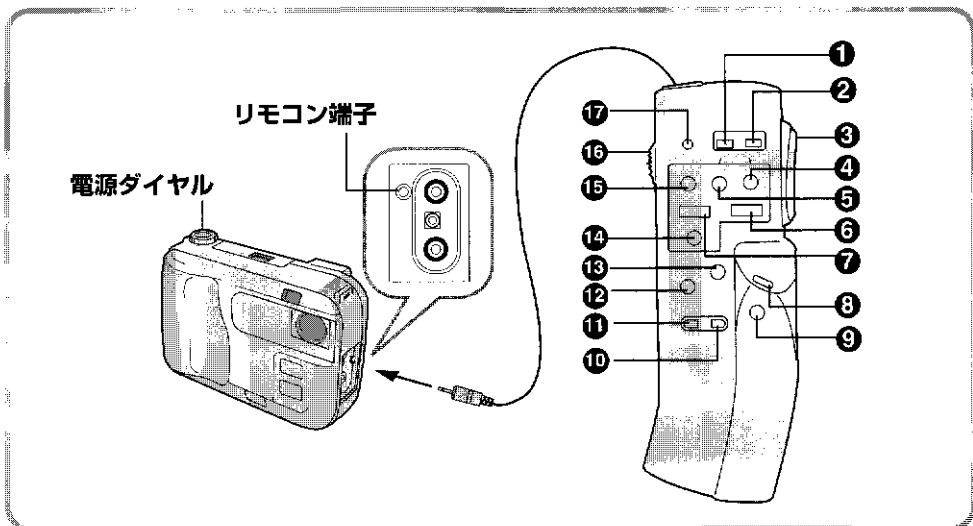


例3 チャンネルボタンで切り換えるタイプ




別売リモコンRM-V20を使って

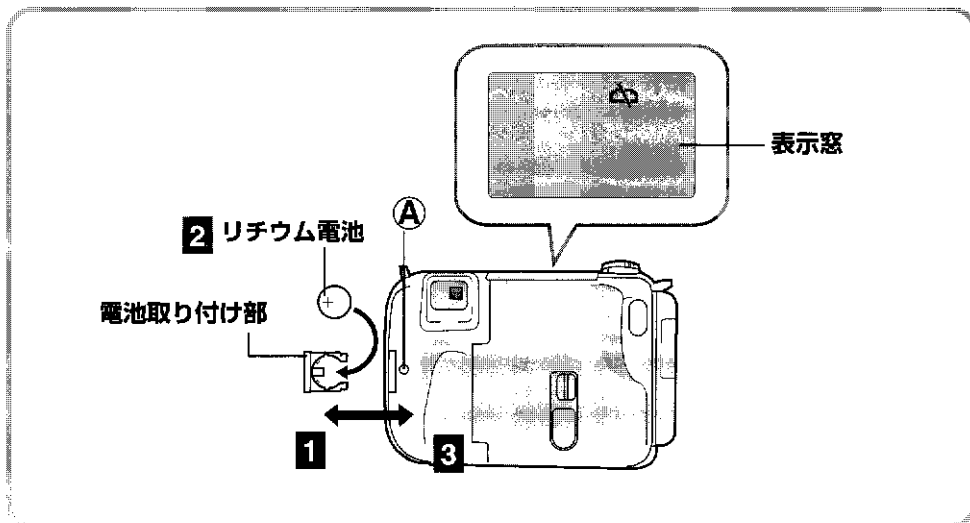
別売のリモコン RM-V20 をつないで、ビデオカメラを操作することもできます。
RM-V20の取扱説明書もご覧ください。



リモコンのボタン (名称)	各操作ボタンのはたらき	
	電源ダイヤルが '撮影' / '☉' のとき	電源ダイヤルが '再生' のとき
① 電源 (切)	電源 '切'	
② 電源 (入)	電源 '入'	
③ ズームスイッチ	ズーム T (望遠側) / W (広角側)	
④ 早送り/リテイク	リテイクF (正転再生)	早送り
⑤ 巻戻し/リテイク	リテイクR (逆転再生)	巻戻し
⑥ 再生	—	再生
⑦ 停止	撮り直し	停止
⑧ スタート/ストップ	録画/録画一時停止	—
⑨ VISS	—	—
⑩ インターバル (セルブタイマー)	—	—
⑪ 録画タイム (アニメ)	—	—
⑫ インサート	—	—
⑬ アフレコ	—	—
⑭ 一時停止/静止/ リハーサル	—	一時停止
⑮ 録画	—	—
⑯ キーロックスイッチ	スライドさせると、リモコンのボタンをさわっても動作しません。	
⑰ 送信ランプ	各操作ボタンを押すと、赤く点滅します。	


リチウム電池(時計用)を交換する

日付、時刻の記憶を保つために必要です。お買い上げ時は、すでに取り付けられています。電源ダイヤルを「切」以外にしたとき、表示窓に  表示が出たら交換してください。



1 ①の穴にペン先などを差し込み、押しながら電池取り付け部を矢印方向へ引き出す

2 リチウム電池を上の方のように、+側を手前に入れて入れる

3 電池取り付け部を差し込む
●交換後は日時を合わせ直すことをおすすめします。()




ご注意ください

電池は幼児の手の届かない所においてください。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。


応用



電池を交換する時期は

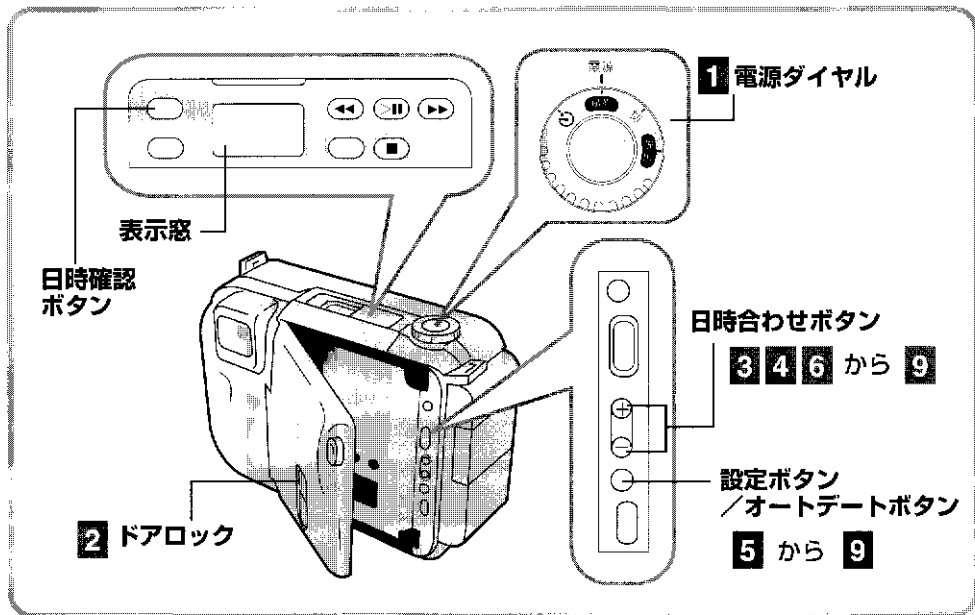
- リチウム電池の寿命は約1年です。お買い上げ時に取り付けられているのは、サービス電池ですので、1年もたないことがあります。
- 電池の容量が無くなると、電源ダイヤルを「切」以外にしたとき、表示窓に  表示が5秒間点滅し、その後点灯します。また、電源ダイヤルを「撮影」にしているときはファインダー内の緑ランプが点滅します。

電池を交換するとき

- バッテリーをつけたままで交換すると、設定してある日付を消さなくて済みます。
- CR2025リチウム電池を 最寄りの電気店またはカメラ店で求めください。
- “必ずお読みください”() の注意文もよくお読みください。

日時を合わせる

撮影中に日付が変わったとき、またテープを入れかえて最初に録画スタートするとき
約4秒間、自動的に日付を記録します。お買い上げ時は、すでに日時を合わせてあります。



1 電源ダイヤルを「撮影」にする

2 ドアロックを「開」にして、
ドアを開ける

3 日時合わせボタンの+と-を
同時に押す

●始めに年の表示が点滅します。



表示窓

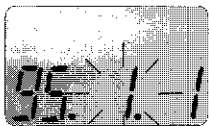
4 日時合わせボタンの、+または-のどちらかを押して年の
表示をあわせる

●年の表示が点滅します。
●年は西暦の下2ケタで入力します。
(再生時の画面上は、4ケタになります。)



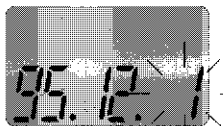
5 設定ボタンを押して決定する

●年の表示の点滅が止まり、月の表示が
点滅します。



6 年と同じように、月の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 月の表示の点滅が止まり、日の表示が点滅します。



7 月と同じように、日の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 日の表示の点滅が止まり、表示窓の表示が時分表示になり、時の表示が点滅します。



8 日と同じように、時の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 時間はAM/PM (AMは午前、PMは午後) で表示されます。
- 正午は PM12:00、夜の12時は AM12:00となります。
- 時の表示の点滅が止まり、分の表示が点滅します。



9 時と同じように、分の表示を合わせ、設定ボタンを押して決定する

- 分の表示の点滅が止まり、ビデオカメラの中の時計が動き出します。
- 日時を合わせ終わると、表示窓のデジタル数字は、テープカウンターになり、左上に 'DATE' の表示がでます。



設定した日時を確認するには日時確認ボタンを押すと、設定した日付、時刻を表示窓で約5秒間ずつ確認できます。修正したいときは、日時を合わせ直してください。

日付を記録したくないときは

表示窓に 'DATE' の表示が出ていると、日付を記録することができます。記録したくないときは、オートデートボタンを押して、表示窓から 'DATE' 表示 (オートデート表示) を消してください。日付を記録したいときは、もう一度オートデートボタンを押してください。'DATE' 表示がでて、記録されるようになります。

こんなときは

故障かな?と思ったら

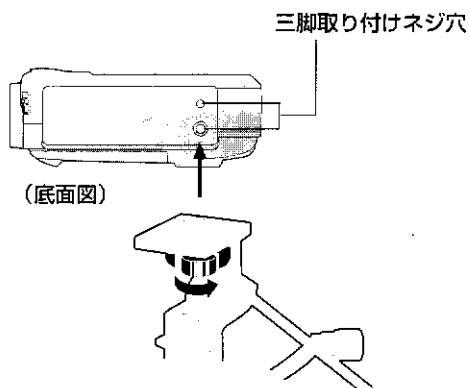
以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

症 状	処 置	参 照 ページ
電源が入らない	●バッテリーが充電されているか、確かめてください。 ●電源が正しく接続されているか、確かめてください。	9
撮影ができない	●ツメなしテープで撮影していないか、確かめてください。 ●電源ダイヤルが「再生」になっていないか、確かめてください。 ●電源ダイヤルを「撮影」側に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。	11 12
ピントが合わない	●レンズの前が汚れていると、ピントが合わないように見えます。市販のレンズクリーニングペーパーなどで、よくふき取ってください。 ●単焦点レンズのため、望遠側で1.3m、広角側で40cmより近い被写体にはピントが合いません。	12
再生、巻戻し、早送り ができない	●電源ダイヤルが「再生」側になっているか確かめてください。 ●テープが早送り、巻戻しを完了していないか、確かめてください。	20
被写体に強い光が入ると 縦に白い線が出る	●大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
レンズが、指紋などで 汚れてしまった	●やわらかい布で、あまり力を加えずに汚れをふき取ってください。また、かたい布などでこすらないでください。キズがついたり割れたりすることがあります。	—
テープは回っているが 再生しない	●映像/音声入力端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを「ビデオ」にしてください。(テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2以外になっていませんか。)	20
ファインダーと記録される 映像が違う	●ファインダーとレンズの位置が違いため、映像が多少ズレることがあります。	—
テープ表示が点滅せずに 突然点灯した	●お使いになるテープによっては、テープが終わりに近くなっても表示が出ないこともあります。	38
日付が記録されない	●表示窓に「DATE」の表示が出ていないと、日付は記録されません。オートデートボタンを押して、「DATE」の表示を確認してから撮影してください。	37
表示窓に見なれない マークが出た	●画面と表示窓の、一覧をご覧ください。	37

このビデオカメラはマイコンを使用しています

雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そのときはビデオカメラから電源(バッテリー、ACパワーアダプターなど)およびリチウム電池を一度外してしばらく置き、改めてご使用ください。

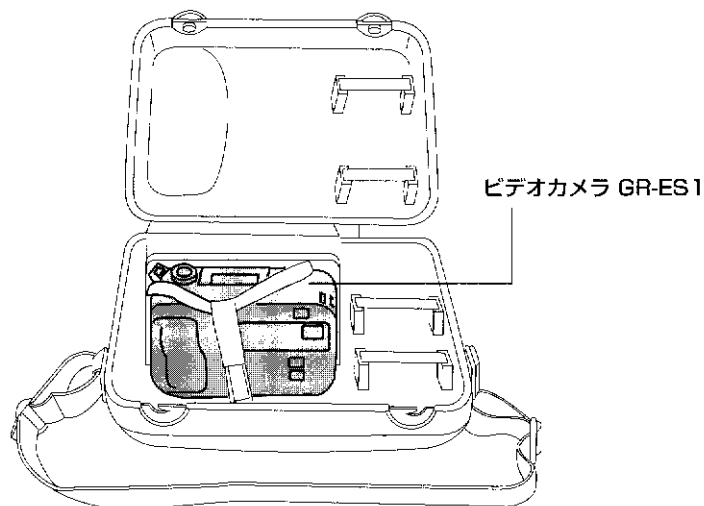
三脚を取り付けるときには



三脚を取り付けて不安定な場合には、別売の取り付けアダプター (CU-V420J) をご使用ください。

システムキャリングケースへの収納位置

システムキャリングケースCB-V26 (別売)、CB-V39 (別売) に収納する場合には、下図のように行ってください。



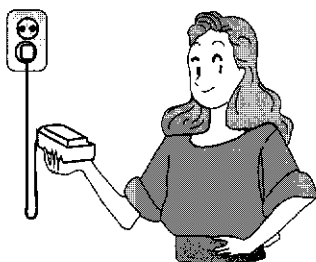
その他

海外でお使いになるには

このビデオカメラは海外でもお使いになれます

ACパワーアダプターは、海外でもバッテリーの充電ができます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので訪問国のコンセントに合った変換プラグ（空港売店で販売）が必要です。くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	AC/パワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など				
	主にオーストラリア	主にヨーロッパ			



現地のテレビで見るとは
NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは
日本と同じNTSC方式で撮影したものです。



海外で万一故障した場合は
お持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。
(海外でのアフターサービスについては、ご容赦ください。)

日本と同じNTSC方式の国です

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアム
- 韓国
- チリ
- ドミニカ
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- バミューダ
- フェルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ポリネシア
- グアテマラ
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- パルバドス
- ミャンマー
- ベトナム
- フィリピン
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- メキシコ
- 台湾



必ずお読みください

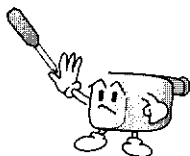
ビデオカメラについて

使用上のご注意

安全のため 特にご注意ください

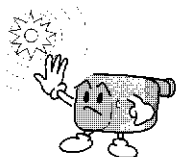
危険な上、故障の原因になることがありますので、次のことを必ずお守りください。

分解したり内部に異物
を入れない



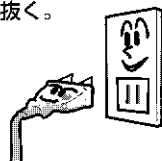
レンズを直接太陽に
向けない

●反射物、高輝度の被写体にも
ご注意ください。



電源コードに傷を
つけない

●AC パワーアダプターなど
の電源コードはプラグを
持って抜く。



取り扱いのご注意

撮影中、再生中は電源
をはずさない

●テープを傷めたり、誤動作の
原因になります。



衝撃を与えない



使用場所のご注意

以下の場所での使用、放置は故障の原因となるのでお避けください。

湿気や油煙、ほこりの多い所

●砂浜などでの使用は内部
に砂や海水が入らないよ
うに、また雨天、降雪中
の使用では、濡らさない
ようにご注意ください。



温度が高い所

●窓を閉めきった自動車の中や、熱器具や暖房
の近くなど。(周囲温度は0~40℃の範囲、
湿度は35%~80%内の場所で使用されるこ
とをおすすめします。)



強い電波や磁気の発生する所、また
雷が近いときは使用しない



その他

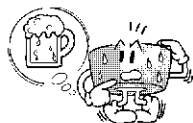
必ずお読みください (つづき)

つゆつきについて

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を「つゆつき」といいます。

〈湿気は大敵〉つゆつきが発生すると

ビデオカメラの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、テープが貼り付き傷ついてしまいます。



つゆつき表示が出たらビデオカメラは停止します。



つゆつきはこんなときにおこります

- ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。

つゆつき後再び使い始めるには

電源を切って数時間待ちます。その後電源を入れて数分待ち、つゆつき表示が消えてからご使用ください。消えない場合は点検が必要です。お買い上げ販売店にご相談ください。

つゆつきのトラブルを防ぐには

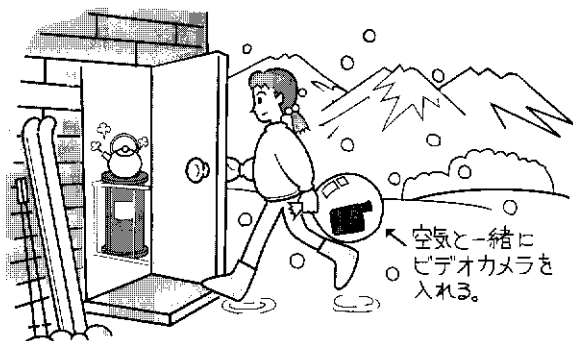
つゆつきのおこるような環境

- ・寒い所から暖かい所
- ・冷房のきいた所から温度・湿度の高い所

での使用は、移動時にビデオカメラとテープをしばらくおいて、その環境になじませてからお使いください。

- 例えば、スキー場で撮影後、暖房のきいた部屋に入るときはビニール袋等にビデオカメラを入れて（一緒に空気も入れる）移動し、しばらくその状態で環境になじませるとつゆつき防止に効果的です。

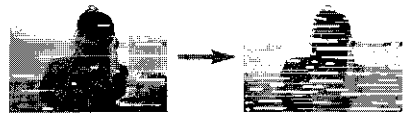
- ・つゆつきはレンズにもおこります。きれいに撮影できませんのでつゆつきがなくなってから撮影してください。
- ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現われないことがあります。
- ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあります、さらに時間がかかります。



ヘッドの汚れについて

ヘッドが汚れるとテープ再生時に、右のような症状が出ます。

クリーニングカセット TCC-2(別売) を使ってヘッドを清掃してください。



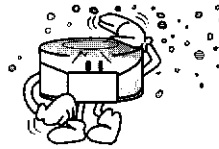
ヘッドの汚れる原因は

高温・多湿

●しばらくその環境になじませた後ご使用ください。

テープの傷

●傷のあるテープは磁性粉がはがれヘッド汚れの原因となります。



ヘッドは摩耗します

クリーニングカセットで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

空気中のほこり・ちり

長時間の使用

●クリーニングカセットでクリーニングしてください。



お手入れについて

ボディの汚れは

お手入れのときは、電源をはずして行ってください。

- 乾いた柔らかい布などで拭きとってください。
- ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。



レンズはいつもきれいに

レンズブローでほこりを落とし、レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。



定期点検のおすすめ

ヘッドやテープを動かす機会部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、おおよそ1000時間をめどに点検されることをおすすめします。

必ずお読みください (つづき)

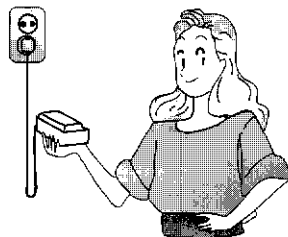
バッテリーについて

上手な充電と使い方で長持ちさせましょう。

上手な充電と使い方

使用前に充電を！

- バッテリーは使用しなくても自己放電する特性があります。したがって充電せずに出荷しています。使用する直前か前日に充電してください。
- 充電するときは、周囲の温度が10～35℃の場所でおこなってください。



バッテリーは完全に使いきってから充電を！

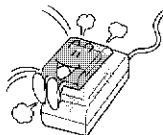
完全に使いきる → 充電 → 完全に使いきる → 充電



- 使いきらないで充電するとバッテリーの容量低下の原因になります。(付属のACパワーアダプターにはリフレッシュ機能がついています。5回の充電につき1回を目安にリフレッシュしてください。)

長時間使用しないときは機器からはず

- 電源を切っても微小電流が流れています。



使用時間が短くなってきたら

バッテリーには寿命があります！

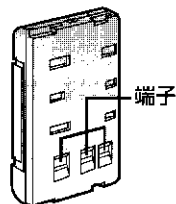
- 長時間(約1年)保存されたバッテリーは、はじめの使用時間が若干短めになります。充電と放電(使いきる)を数回繰り返すとバッテリーの容量が回復します。
- 完全に使いきる → 充電 を繰り返しても使用時間が短いときは、寿命がきていますので新しいバッテリーをお求めください。

次の場合にも撮影時間が短くなります。

- 寒冷地など温度の低いところでの撮影
- ズームを使った撮影

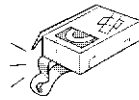
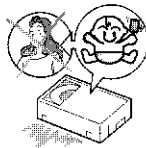
ご注意ください

バッテリーを持ち運ぶときはビニール袋で包むなどして、端子にキーホルダーやネックレスなどの金属類が触れぬようにしてください。事故の原因になります。



テープについて

- 撮影済みテープに新しく撮影すると、前の映像と音は自動的に消えます。
- テープは裏返しでは使えません。
- テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さないでください。



リチウム電池について

充電しない

- 破損、液もれの恐れがあります。

ショートさせない

- ピンセットなどの金属物で絶対につままないでください。ショートする恐れがあります。

分解や加熱、火に投入しない

- 破裂するなどの危険があります。

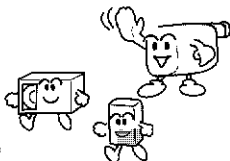


正しい保存のしかた

ビデオカメラは

ふだん使用しないときは、テープを出し、電源を切りバッテリーをはずしておく

- 機能に支障をきたす場合がありますのでときどき電源を入れ、チェックしてください。



テープは

ケースに入れ、湿気が少なく風通しの良い、カビの発生しにくいところに立てておく



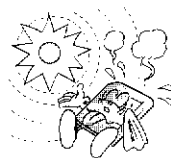
バッテリーは

長時間使用しないときは放電して保存する



温度が上がらない乾燥したところに保存する

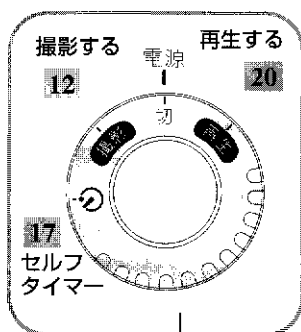
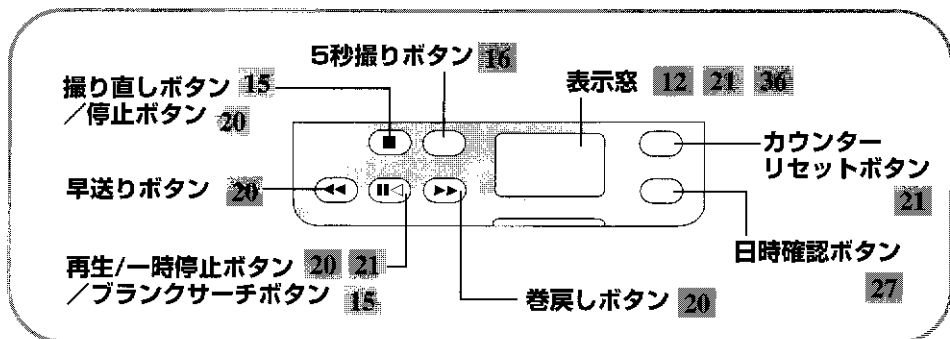
- 高温の場所に置くと寿命が短くなり、自己放電も多くなります。



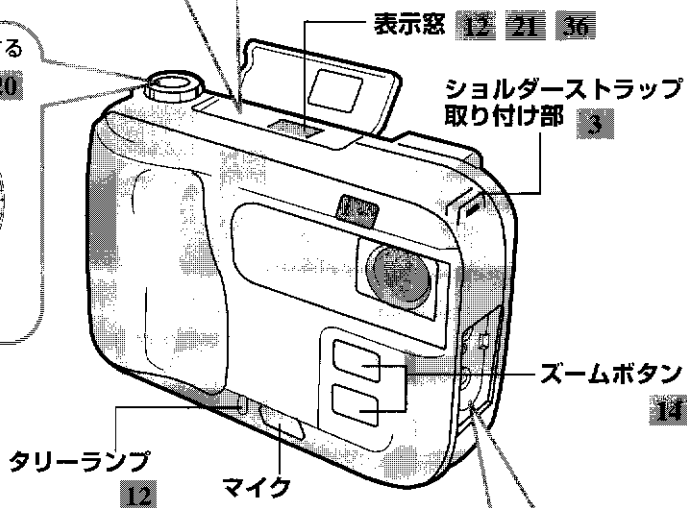
その他

各部のなまえ

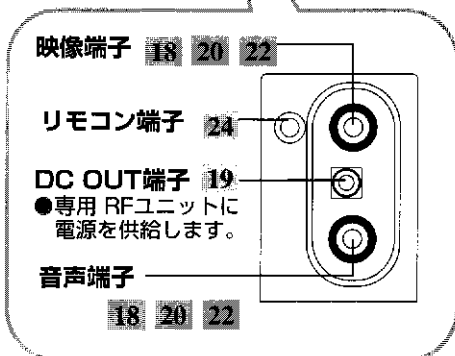
● 内の数字は参照ページです。

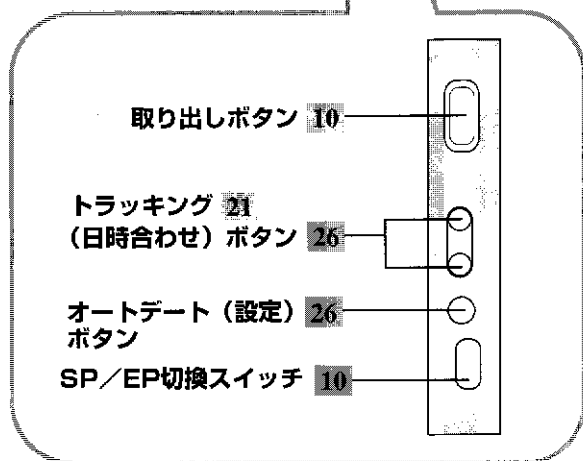
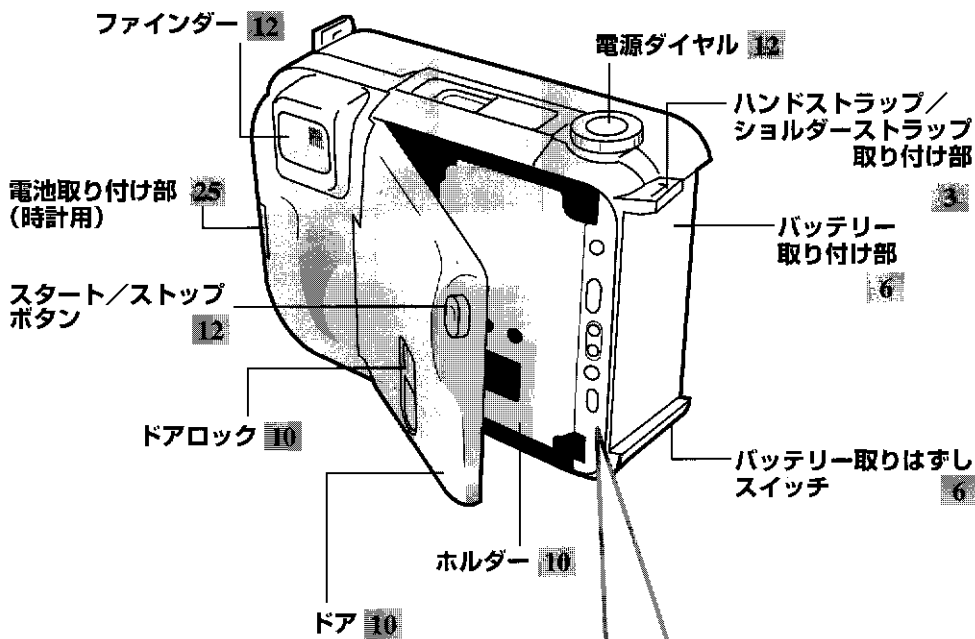


電源ダイヤル



● 端子類はカバーの中にあります。





その他

表示窓とファインダー

表示窓

オートトラッキング表示 21

リチウム電池表示 25

ヘッド目づまり表示 38

バッテリーアラーム表示 38

つゆつき表示 32

5秒撮りモード表示 16

テープ表示 38

オートデート表示 21

日時表示 / テープカウンター 21 27

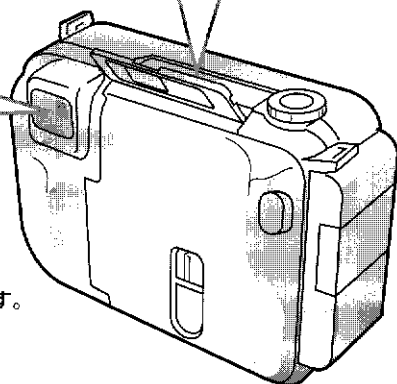
操作表示 12 ~ 21

- 停止 (点滅時は振り直し)
- ▶ 再生
- ▶▶ ブランクサーチ (点滅時)
- || 一時停止
- ||● 撮影一時停止
- 撮影中

ファインダー

赤ランプ 12 17

※緑ランプ 12 17 25



※ファインダー内の緑ランプの点滅は警告表示です。
表示窓に以下のマークが表示されます。

表示	表示名と説明	表示	表示名と説明
	リチウム電池 (時計用電池) 表示 電池が入っていないか容量がなくなっています。(25)		ヘッド目づまり表示 録画開始時、ヘッドにゴミ付きが発生し記録できない恐れがあるときに表示します。クリーニングカセットで清掃するか、お近くのビクターサービス窓口にご相談ください。(38)
	バッテリーアラーム表示 バッテリーの充電容量が少なくなっています。		
	つゆつき表示 つゆつきが発生しています。 "必ずお読みください" (32) をご覧ください。		テープ表示 テープが終わりに近づくと点滅し、終わってしまうと点灯します。

主な仕様

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

カメラ

電源	: DC6V
消費電力	: 5.3W
信号方式	: NTSC日米標準信号
録画方式	: VHS規格
使用テープ	: VHS (S-VHS) マーク付のもの
テープ速度 (SP)	: 33.4mm/秒
(EP)	: 11.1mm/秒
録画時間 (SP)	: 最大 約40分 (TC-40使用時)
(EP)	: 最大 約120分 (TC-40使用時)
早送り・巻き戻し時間	: 約 6分 (TC-40使用時)
撮像素子	: 1/4インチCCD
レンズ	: f=4~12mm F2.8 3倍ズーム ハンフォーカス
ファインダー	: 実像式ズームファインダー
最低照度	: 20 lx
白バランス調整	: 自動
アイリス	: 自動
映像出力	: 1Vp-p(75Ω不平衡)
音声出力	: -8dBs(Low)
リモコン端子	: ミニジャック (φ3.5mm)
許容動作温度/相対湿度	: 0°C~+40°C/35%~80%
許容保存温度	: -20°C~+50°C
外形寸法	: (幅) 169 × (高さ) 120 × (奥行き) 71 mm
質量	: 撮影時総質量 約 860g <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> バッテリーBN-V12 カセットテープTC-40 ハンドストラップ 本体約 630g </div>
付属品 (リチウム電池は取り付け済みです。)	: ACパワーアダプター AA-V11×1 バッテリー BN-V12×1 映像/音声コード×1 リチウム電池(CR2025)×1 ハンドストラップ×1

充電について

充電/リフレッシュ時間の目安表

バッテリー	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V15	約1時間25分	約5時間
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V25	約2時間40分	約10時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V65	約2時間10分	約7時間

ACパワーアダプターAA-V11 (付属) 使用の場合

●リフレッシュ時間は、容量いっぱいまで充電した状態からの目安です。

連続撮影時間

バッテリー	撮影時間
BN-V12	約 70分
BN-V15	約 95分
BN-V22	約 140分
BN-V25	約 200分
BN-V50	約 170分
BN-V65	約 140分

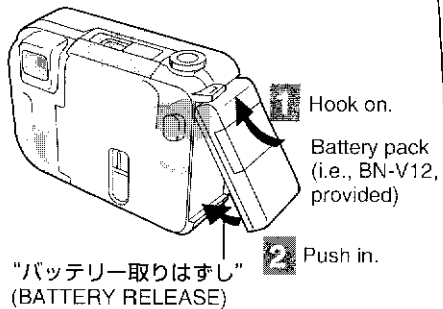


使用するバッテリーは6Vです。
 BN-V12、V15、V22、V25、V65 はニカド電池、BN-V50はニッケル水素電池です。

その他

ENGLISH QUICK OPERATION GUIDE

SUPPLY POWER



A. Using the battery pack

- 1 Hook-on the battery pack's top end to the camcorder.
- 2 Push in the battery pack in until it locks into place.

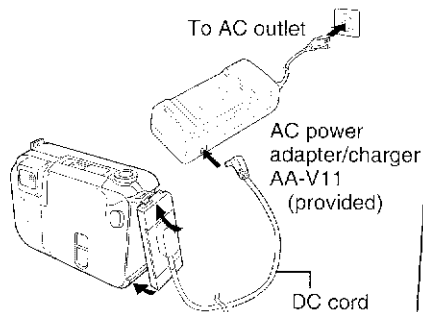
To remove the battery pack

Slide "バッテリー取りはずし" (BATTERY RELEASE) and pull out the battery pack.

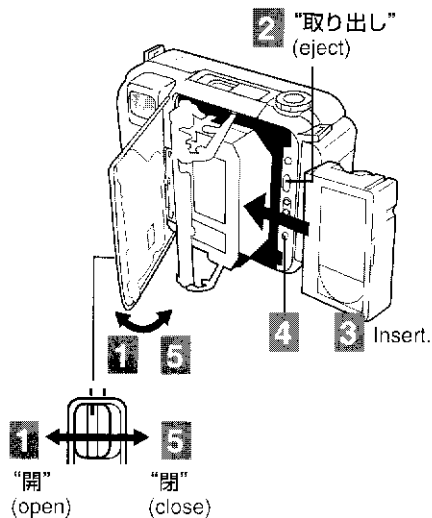
B. Using the AC Power adapter/charger

To attach the DC cord to a camcorder:

Same as the battery pack (above).

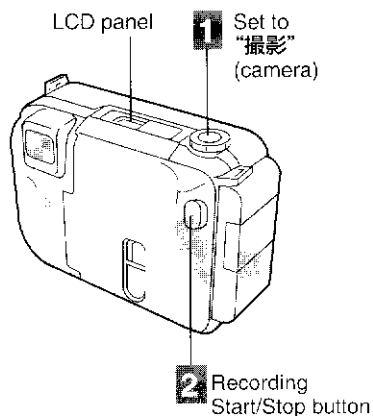


INSERTING A VIDEO CASSETTE



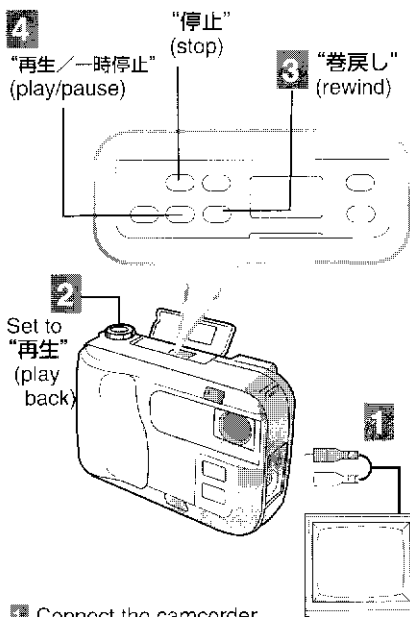
- 1 Slide the cassette cover latch to "開" (open).
- 2 Press "取り出し" (eject).
- 3 Insert a video cassette.
- 4 Set SP/EP as required.
- 5 Close the cassette cover and slide the cassette cover latch to "閉" (close).

SHOOTING



- 1 Set the power switch to “撮影” (camera).
— The indicators appear on the LCD panel.
- 2 Press the Recording Start/Stop button.
— Recording Starts.
 - To stop recording temporarily, momentarily press the Recording Start/Stop button once again.

PLAYBACK



- 1 Connect the camcorder to the TV by the provided AV cable.
- 2 Set the power switch to “再生” (playback).
- 3 Press “巻戻し” (rewind).
— The tape will automatically stop at the beginning of the tape.
- 4 Press “再生/一時停止” (play/pause).
— Playback starts, and playback picture appears on the TV connected to the camcorder by the AV cable.
 - To stop playback, press “停止” (stop).

Or simply play back the tape on a VHS VCR using the Cassette Adapter C-P6 (optional).

索引

五十音順

カ

- カウンター 21
- カセットアダプター 11
- カーバッテリーチャージャー (別売) 9
- 誤消去防止 11
- 5秒撮り 16

サ

- 撮影一時停止 12
- 撮影の確認 19
- ストラップの取り付け方 3
- ズームボタン 14
- ショルダーストラップ 3
- セルフタイマー 12

タ

- ダビング 12
- タリーランプ 12
- つゆつき 12
- テープについて 11
- テープを入れる 11
- テレビで見る 12
- 電源 (コンセントで) 12
 - (車で) 9
 - (バッテリー) 12
- トラッキング 21
- 撮り直し 11
- 撮る姿勢 13

ナ

- 日時合わせ 26
- ノイズが出たら 21

ハ

- バッテリー 12
- バッテリーアラーム 12
- ハンドストラップ 12
- 表示窓 12
- ブランクサーチ 15
- ファインダー 12
- ヘッド汚れ 13

ラ

- リチウム電池 12
- リモコン 21
- 録画方式 30

アルファベット順

- ACパワーアダプター (付属) 6
- RFユニット (別売) 19
- SP / EPモード 10



保証とアフターサービス

保証書 別途添付しています。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ビデオカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

修理を依頼されるときは（持込修理）

28 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。万一本機およびビデオセット等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	VHSビデオカメラ
型名	GR-ES1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

その他

愛情点検

●長年ご使用のビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なう事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 再生しても映像や音が出ない。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
を
中 止

故障や事故防止のため、
電源を切り、必ず販売店
に点検をご相談ください。



省エネで
守る環境
豊かな暮らし



— アフターサービスのお問い合わせ先 —

アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上、お近くのサービス窓口にご相談ください。43ページの「保証とアフターサービス」もお読みください。

お客様ご相談センター

— 東京 —

 (03) 5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

— 大阪 —

 (06) 765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550